

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	札幌市立二条小学校 第3学年 80名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（社会科 総合的な学習の時間 道徳 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	・札幌冬季オリンピックの歴史について学び、人々が受け継いできたオリンピック関連の文化財を大切にする心をもつ。 ・オリンピック・パラリンピックの意義について学ぶことを通して、スポーツの意義への理解を深める。
5 取組内容	○指導計画【8時間扱い】 【道徳】（国際理解、国際親善）1時間 ・日本の人々や文化との共通点や相違点に目を向ける。 ・日本も他国も伝統や文化を大事にしていることを知り、互いに尊重し合うことの大切さを学ぶ。 【社会科】1時間 「のこしたいもの、つたえたいもの」 ・札幌冬季オリンピックについて学ぶ。 ・札幌冬季オリンピックで札幌市がどのように変わったのかを学ぶ。 (2/8) 【総合的な学習の時間】6時間 ・オリンピック・パラリンピックについて知っていることを交流し合う。(3/8) ・学習教材「I'm POSSIBLE」等を活用し、オリンピック・パラリンピックの歴史や意義について学ぶ。(4/8) ・札幌オリンピックミュージアム見学。村上大輔氏の講演・施設内見学・展望台からの札幌市の街の様子を見学する。 (5/8～6/8) ・この学習を通して学んだこと、見学したことや講話をもとに学習シートにまとめて、家族に伝える。(7/8～8/8)

	○取組の様子 【村上大輔氏の講話】 【館内見学の様子】 【学習のまとめの様子】
6 主な成果	・札幌オリンピックについて学ぶことで、札幌の街がどのように発展したのかを学んだ。 ・オリンピック・パラリンピックの意義を学ぶことを通して、勝敗、国や国籍に関係なく、互いを尊重し合うことの大切さを学んだ。 ・札幌オリンピックミュージアムでの村上大輔氏の講話では、「楽しむこと」「あきらめずにチャレンジすること」の大切さを聞き、今後の自己の生き方について考えた。
7 実践において工夫した点	・カリキュラムを冬にもってくることで、雪の授業や社会科「のこしたいもの、つたえたいもの」の授業と関連付けて行った。 ・地域にある大倉山ジャンプ競技場は、秋の遠足で行く身近な場所として、子どもにとってイメージがわきやすくした。
8 主な課題等	札幌オリンピックミュージアムでの施設見学の時間が短かった。子どもが実際に体験したり、展示物を見る時間を保障したりできると、より一層、事前に学習したことと関連付けながら学習を進めることができる。そのためには、昼食を施設内で取り、午後も見学ができると、より充実した学習になる。
9 今後の取組について	・オリンピック・パラリンピックへの興味を広げ、あらゆるスポーツへの関心を高めていく。そのために、オリンピック・パラリンピック教育について教師が正しく理解し、実践していく。 ・さらに他教科・他領域との関連を図る。 ・学習教材「I'm POSSIBLE」の効果的な活用方法を検討し、体育とのつながりを考えた授業づくりを行う。